



## 修学旅行報告 ～未来を拓く学びと深まる友情の旅～

文責 校長 今井 大輔

11月4日、5日の2日間、6年生の修学旅行が、キャリア教育（総合的な学習の時間）の「将来の仕事を考えよう」をテーマに、大きな事故なく無事に終了いたしました。この旅で子供たちが見せてくれた生き生きとした表情と、目覚ましい成長の様子をご報告いたします。

旅の始まりは、福岡市でした。初日の目的地はキッザニア福岡。到着後、未来への希望を象徴するかのようにそびえ立つ巨大なガンダムの前で、全員が笑顔で集合写真を撮影し、胸の高鳴りとともに職業体験へ臨みました。可愛いユニフォームに身を包み、銀行員、研究員、パイロットなど、様々な仕事に真剣な眼差しで挑戦する姿は、まさに未来の担い手そのものでした。社会の仕組みを肌で感じ、仕事の厳しさや楽しさを学んだことは、子供たちの将来の夢を育む貴重な機会となったことでしょう。夜は、歴史と自然豊かな休暇村志賀島に宿泊し、打ち寄せる波の音と友達と共に入る露天風呂で一日の疲れを癒やし、友情を深めるかけがえのない時間となりました。



2日目は、マリンワールド海の中道でスタートしました。ダイナミックで息をのむようなイルカショーに、子供たちからは自然と歓声が上がりました。海の生き物たちの命の営みと自然の雄大さに触れ、感動を覚えたようです。昼食には、特別に用意された「松本零士弁当」をいただきました。宇宙やSFの世界観が詰まったユニークなお弁当は、昭和生まれの私たち世代にとっては、旅の楽しさを一層盛り上げ、創造性をかき立ててくれるものでした。（子供たちは、ほぼ無反応でしたが・・・）



旅の締めくくりは、武雄宇宙科学館での体験活動です。ここでは、展示を見るだけでなく、自ら触れて操作し、科学の不思議や宇宙の神秘に夢中になりました。知的好奇心と探求心は、無限に広がっていくことを実感した瞬間でした。



2日間を通じて、子供たちはグループでの役割を自覚し、時間やルールを守り、困っている友達に優しく声をかけるなど、協調性や自立心を大きく育ててくれました。この修学旅行で培った「最高の思い出」と「自ら考え行動する力」を、6年生の残りの学校生活、そして中学校での生活へとしっかりと繋げていってほしいと思います。保護者の皆様には、事前の準備等感謝申し上げます。

## キッザニア福岡での学びを2名分紹介します。

- ・漢方研究員も靴デザイナーも「お客さんの気持ちを考えて作りましょう！」と言われて、どの仕事も人のことを考えてやっているのに気づいた。
- ・私たちの生活に身近なものも、色々な工夫がされていることが分かった。
- ・今回は、作るのしかやっていないから、次は活動する（消防士や銀行員など）のもやってみたい。
- ・仕事は大変だけど、やりがいがあるから続けられているという部分もあるのかなと思った。
- ・職業体験をしてみて、前よりは本当の仕事をやってみたいと思うようになった。活動するときにも、それを用意してくださる人がいるから、その人たちのおかげで活動できているんだなと思った。

- ・最初にリユースショップに行っていたことは、宝石（ダイヤモンド、ルビー、サファイヤ、エメラルド）の鑑定や、輝きを見ることです。次にエメラルドの価値を付けました。宝石が何からできてきているのかなど、とても分かりやすかったです。
- ・新生児室（病院）に行っていたことは、赤ちゃんの体重や体温などを測ったり、体調を見たりしました。次に赤ちゃんをお風呂に入れました。赤ちゃんの皮膚は弱く、身体はもろいことをあらためて知りました。

